

各位

明治安田との包括連携協定 締結1周年記念事業 「地域防災備蓄品エコシステム」の運用開始について

遠州鉄道株式会社（本社：静岡県浜松市中央区旭町、社長：丸山 晃司、以下「遠州鉄道」）は、明治安田生命保険相互会社（本社：東京都千代田区、執行役社長：永島 英器、以下「明治安田」）と締結した包括連携協定の締結1周年記念事業として、「地域防災備蓄品エコシステム」の運用を開始いたします。

本取組は、両社が連携して実施してきたフードドライブ事業の枠組みを活用し、遠鉄グループ各社が保有する防災備蓄品をデジタルで一元管理するとともに、賞味期限を迎え廃棄される備蓄品を地域へ循環させる新たな運用モデルです。防災備蓄の実効性向上と食品ロス削減、さらには地域支援を同時に実現することで、「社会的価値」「環境的価値」「経済的価値」を創出し、共助型地域循環社会の実現を目指します。

詳細は下記の通りとなります。

記

■ 取組の背景

近年、企業における防災備蓄品は、賞味期限管理の煩雑さや担当者の属人化などにより、期限切れによる廃棄が課題となっています。

一方で、地域では生活支援を必要とする世帯や子ども食堂などに対し、安定的な食材提供が求められているものの、昨今の物価高の影響を受け食材の確保は非常に大きな課題となっています。

遠州鉄道と明治安田は、2025年1月に包括連携協定を締結し、その取組の一環として、新浜松駅をはじめとする一部の有人駅や、遠鉄グループ各社の拠点等に設置した回収BOXを通じて、フードドライブ事業を実施してきました。

協定締結から1年を迎えるにあたり、これまでに実施してきたフードドライブ事業の枠組みを活用し、防災分野における新たな活用モデルとして、「地域防災備蓄品エコシステム」を構築しました。

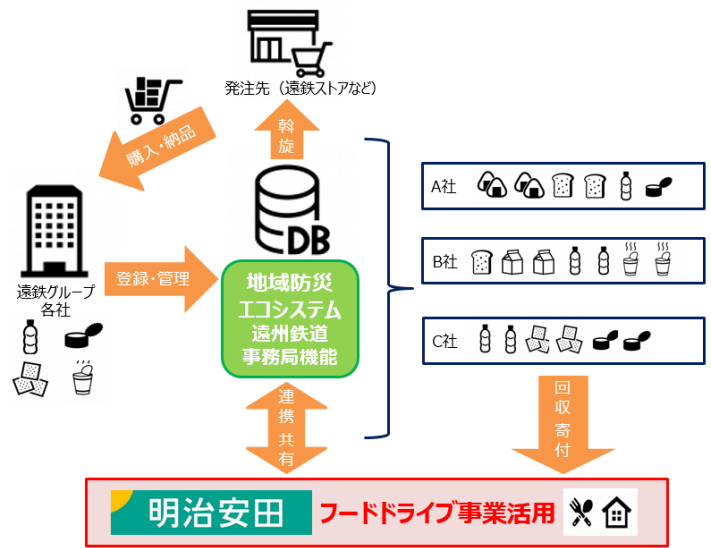


■ 地域防災備蓄品エコシステムの概要

本エコシステムでは、遠鉄グループ各社が保有する防災備蓄品について、以下の機能を実装しています。

- データによる備蓄品、寄付情報の一元管理
備蓄品、保管場所の画像登録による備蓄品情報の可視化・ビジュアル化
- 備蓄品更新アラート機能による賞味期限切れ防止
- 賞味期限切れを迎える前に明治安田が回収、寄付を担当

防災備蓄品の登録や賞味期限管理に関する仕組みは、既に遠鉄グループ内での実装を完了しており、今回新たに、回収拠点ごとに明治安田の担当者を選任した上で、該当備蓄品の回収・寄付を行う運用を開始します。



■ 運用エリアと今後の展開について

本取組は、当面、明治安田の浜松支社管轄エリアを対象として実施します。

寄付対象となる備蓄品は、明治安田と遠州鉄道が共同で実施しているフードドライブ事業の枠組みを活用し、回収・仕分けのうえ、フードパントリーや子ども食堂など、地域の支援先へ提供されます。

今後は、運用状況や効果を検証しながら、明治安田の静岡支社および沼津支社管轄エリアへの段階的に拡大し、静岡県内全体での展開を予定しています。

遠州鉄道と明治安田は、本取組を通じて共助型の地域循環社会の実現を目指すとともに、包括連携協定に基づき、地域とともに歩む持続可能な社会づくりと社会課題解決に取り組んでまいります。

以上

【本リリースに関するお問い合わせ先】

遠州鉄道株式会社 地域共創推進室